

茅ヶ崎市制施行70周年記念 平成29年茅ヶ崎市消防出初式

にじじ
日時 ▶ 平成29年1月8日(日) 9時30分から

※降雨・降雪の場合は、中止になります！ホームページで確認してください。

かいじょう
会場 ▶ TOTO株式会社茅ヶ崎工場内

※駐車場はご用意しておりませんので、ご了承ください！

ないよう
内容

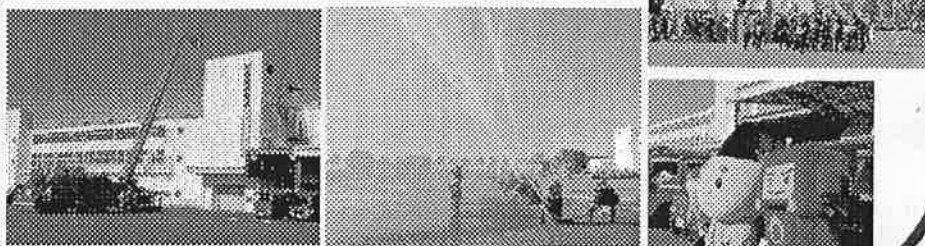
しきてん しょうぼうしゃいよう こうしん かくしゅえんぎ ひろう
式典・消防車両の行進・各種演技の披露

こしきしょうぼうほぞんかい
古式消防保存会によるはしご乗り…

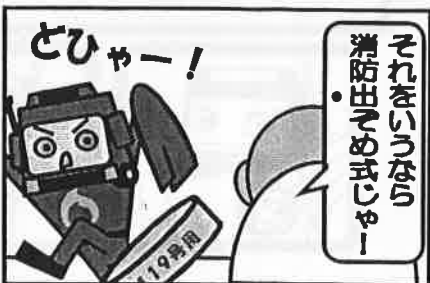
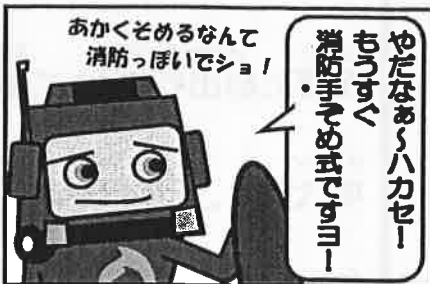
かさいよぼうびん きねんしゃしん あまざけ
火災予防物品や記念写真コーナー・甘酒やポップコーン

の無料配布もあります！

しょうさい し かくにん
詳細は市のHPでご確認ください。



ショウボーク119号!



おとうさん、おかあさんをさそって、かぞくみんなであそびにきてね

お問い合わせ

茅ヶ崎市消防本部 消防総務課

☎0467-82-1111(内線4112)

しょうぼうでぞめしき れきし 消防出初式の歴史

でぞめしき れきし ふる えどじだい さかのぼ
出初式の歴史は古く、江戸時代まで遡ります。

はっせい めいれき たいか えど まち たいはん しょうしつ ちょうみん かつき うしな
1657年に発生した「明暦の大火」で、江戸の町は大半が焼失し、町民は活気を失って

ねん がつ にち えどぼくふ つく しょうぼう そしき じょうびけし うえのとうしやう
いたところですが、1659年1月4日に江戸幕府が作った消防組織「定火消」が上野東照

ぐう しゅうけつ しごとはじ きせい あ でぞめ よ いきお あ
宮に集結し、仕事始めの氣勢を挙げました。これを「出初」と呼び、勢いよく挙げられた

きせい ふっこう くる えど じゅうみん おお きぼう しんらい あた いらい まいとし がつ か
氣勢は復興に苦しむ江戸の住民に大きな希望と信頼を与えました。以来、毎年1月4日

でぞめ おこな しだい ぎしきか げんだい ひきつ
に出初を行うようになり、次第に儀式化され現代まで引継がれてきました。

の ひし はしご乗りと火消し

えどじだい かじ はっせい たてもん こわ えんしょう ふせ ほうほう ひがい おさ
江戸時代、火事が発生すると、建物を壊して延焼を防ぐ方法で被害を抑えていました。

たてもん こうぞう し とびしょくにんしゅつしんしゃ ひけし おお
そのため、建物の構造をよく知る鳶職人出身者が火消しになることが多かったようです。

とびしょくにん つか こうしょ きけん さぎょう おお たか ぎじゅつ
もともと鳶職人は、はしごを使った高所での危険作業をすることが多く、より高い技術が

もと とびしょくにんしゅつしんしゃ おお えどじだい ひけ たか ぎ
求められました。鳶職人出身者が多かったこともあり、江戸時代の火消しはその高い技

じゅつ しだい おうよう こうしょ さぎょう とびしょくにん きびん ゆうかん さま
術を次第に応用するようになりました。高所で作業する鳶職人の機敏で、勇敢な様は

しだい はつでぎょうじ まとい も まち ね ある みようぎ ひろう
次第に初出行事として纏を持って町を練り歩き、その妙技を披露するようになりました。

げんだい でんとう おな とびしょくにん ちゅうしん でんしょう まいとし でぞめしき みようぎ ひろう
現代では、その伝統を同じ鳶職人を中心に伝承し、毎年、出初式でその妙技が披露

されています。

